

関西医科大学(前期) 英語

2025年1月25日実施

マーク解答

I	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
	g	f	a	n	c	e	l	j	o	d		
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	
	b	c	b	c	d	b	c	d	a	e	b	d
II	22	23	24	25	26	27	28	29				
	a	a	b	a	b	a	c	d				

記述解答

II

30	at least six months of severe exhaustion not helped by bed rest	
31	a body's prolonged overreaction to an infection or other jolt to the immune system	
32	Have you ever been told by a doctor or other health-care professional that you have myalgic encephalomyelitis or chronic fatigue syndrome?	
	Do you still have myalgic encephalomyelitis or chronic fatigue syndrome?	
33	that results in an estimate of 3.3 million U.S. adults	
34	long COVID	chronic fatigue syndrome

III

Dear Mr. Smith,

My name is Yuki. I'm a freshman at Japanese college. Nice to meet you. I'm planning to take advantage of the summer vacation to study in ABC English School for a short period of one month. So, I would like to ask you the following questions: How well should I need to speak English to study at your school? How much is your tuition fee? Do I need a visa to study at your school? Will your school arrange accommodation for the students? Is there anything else I should be aware of?

I'm looking forward to hearing from you.

**Best regards,
 Yuki**

(95 words)

<解説>

I 次の文章を読み、それに続く問いに答えよ。

[内容一致・不一致] 「1」から「10」の各空欄について、次の選択肢の中から最も適切な語句を選び、解答用紙に記入せよ。各選択肢は一度しか使用できない

- 1 答えは g. 空所を含む 1 文の意味は「ネアンデルタール人（ホモ・ネアンデルターレンシス）は、研究者だけでなく一般の人々も魅了してやまない」である。後に続く第 1 段落第 2、3 文を確認する。「ネアンデルタール人は依然として、ホモ属（人類とその近縁種が分類される生物学的な大分類）の性質に関する議論の中心である。ネアンデルタール人はまた、私たちの種であるホモ・サピエンスに固有の性質とそうではない点を理解するためにも不可欠なのだ」である。ネアンデルタール人というトピックが注目の的であることが予想できる。
- 2 答えは f. 前後の文脈から、過去形の動詞が入ることは予想できる。空所を含む 1 文の意味は「彼らはヨーロッパで進化し、私たちはアフリカで進化した。私たちはその後、ユーラシア大陸に何度も分散していった」である。直前の第 2 段落第 1 文では「私たちは約 60 万年前にネアンデルタール人と祖先を共有していた」とあり、現生人類とネアンデルタール人の共通点を確認されている。その後に両者の違いについて話が進むと予想することは可能である。また、空所の後で「その後、ユーラシア大陸に何度も分散していった」とあるが、これはネアンデルタール人には当てはまらない事実であることもヒントになる。
- 3 答えは a. 空所を含む 1 文の意味は「しかし、私たち人類の脳とネアンデルタール人の脳の間には重要な違いがあることを示す証拠があり、その違いにより原生人類（H.サピエンス）はメタファー、つまり 2 つの無関係なものを比較する能力を通じて、抽象的で複雑な考えを考え出すことができるのだ」である。空所の直後に残された“through metaphor”「メタファー（隠喩）を通じて」という副詞句とつながる選択肢を探す。そして、メタファーに関しては、第 21 段落でも言及されており、「概念のまとまりを蓄積する役割を担う一群どうしを脳内でつなげることによって、現生人類はメタファーを用いて思考し、意思疎通する能力を獲得した」とあることも根拠となる。
- 4 答えは n. 前後の文脈から、過去形の動詞が入ることは予想できる。空所を含む 1 文の意味は「新たな解剖学的証拠によれば、ネアンデルタール人のもつ声道と聴覚経路には我々のものと有意な差はなく、そのことは、解剖学的見地からすれば、彼らは私たちと同等な程度で発話によるコミュニケーションをとる能力があったことを示している」である。1 文前半の情報から、ネアンデルタール人にも発話によるコミュニケーション能力があってもおかしくないという予想はできるだろう。また、後に続く第 6 段落最終文で「ネアンデルタール人の遺伝子が私たち自身の種に見つかっていることは、異種交配が多数生じていたことを示しており、それは効果的な種間コミュニケーションと付き合いができたことを意味している」と述べられていることも根拠となる。
- 5 答えは c. 前後の文脈から、過去形の動詞が入ることは予想できる。空所を含む 1 文の意味は「ヨーロッパに 4 万年前よりも前に現生人類が存在していたことを示す証拠が急速に集まりつつあるが、そのことにより、ネアンデルタール人がこれらの幾何学的意匠を作ったという考え、あるいは少なくとも、象徴を用いる現生人類の影響を受ける前にそうしていたという考えの正しさに疑問符がつくのだ」である。「幾何学的」な意匠については、第 7 段落最終文にも記述があり、「石や骨に刻まれた幾何学的な刻印とともに、鳥の爪で作られたペンダントや、体の装飾品として羽毛が使われていた可能性が高いことが、象徴化能力の例として主張されている」というように、近年ではネアンデルタール人にも象徴を用いた

思考が可能であったとする主張が現れている。さらに進んで第8段落では、ネアンデルタール人には芸術を生み出す能力もあったという主張も紹介されている。これについては設問21のf.でも問題とされているように、筆者は正しくないと考えている。このように、ネアンデルタール人に人類並みの能力があったという方向性の主張に対して、筆者が異議を唱えている文脈を考慮すると、ネアンデルタール人が幾何学的意匠を作ったことそのものを否定するには至らないとしても、「少なくとも」現生人類の影響を受けたから作り出せるようになったのではないか、つまり「現生人類の影響を受ける前に」は幾何学的意匠を生み出すことができなかつたのだろう、というようにネアンデルタール人の能力を全面的には認めない内容にすべきことが予想できる。

- 6 答えは e. 前後の文脈から、過去形の動詞が入ることは予想できる。空所を含む1文の意味は「現生人類の脳に固有の球状の形態は、約30万年前に最初のホモ・サピエンスが出現した後に進化した」である。空所に先立つ第12段落第1、2文を確認する。それらの意味は「ネアンデルタール人はまた、小脳が比較的小さく、形も異なっていた。ニューロンが詰め込まれたこの皮質下構造は、言語処理、発話、流暢性など多くの作業をこなすことに寄与している」である。現生人類の小脳の形態は、ネアンデルタール人とは異なっている、という事実から予想できるのは、それが現生人類の出現とともに、もしくはその後に進化した結果得られたものだ、ということである。
- 7 答えは l. 前後の文脈から、過去形の動詞が入ることは予想できる。空所を含む1文の意味は「ホモ・サピエンスに固有であることが知られているすべての突然変異についての包括的研究を行った論文著者たちは、『認知または学習における複雑なネットワークの改変は、現生人類の進化の間に起こった』と結論づけた(2019年現在)」である。設問6での議論の続きであり、現生人類の進化の過程で、高度な認知能力や学習能力を可能にする変異が生じたことを述べていると予想できる。設問6と7では主語に違いがあるので、過去形の動詞として *evolved* と *took place* を使い分けることが求められる。
- 8 答えは j. 空所を含む1文の意味は「例えば、イヌ科動物は同じように *dog*, *chien*, *hund* と呼ばれるが、いずれもその動物の感覚的な印象を与えるものではない」である。空所に先立つ第16段落第1、2文を確認する。それらの意味は「アイコン的な単語は今日でも諸言語に広く行き渡ったものであり、その単語が表す概念の音、大きさ、動き、質感などの側面を捉えている。これは、その単語が指すものと恣意的な関係しかもたない単語とは対照的である」である。特に直前の1文から、空所には音と概念に特につながりのない単語の例となるものを入れるべきことが予想できる。
- 9 答えは o. 前後の文脈から、過去形の動詞が入ることは予想できる。空所を含む1文の意味は「このような種類の単語が世代から世代へと伝達された間に、恣意的な単語と統語論的規則が出現し、初期のネアンデルタール人とホモ・サピエンスに同等の言語能力と認知能力がもたらされた」である。設問8で確認したように、アイコン的な単語は今日の言語にも広く行き渡ったものであることからすると、今に至るまで「受け継がれてきた」ことが予想できる。
- 10 答えは d. 文構造から原形の動詞が入る。空所を含む1文の意味は「これによって現代人は、大きく異なる概念や考えをはっきりと区別することができるようになった」である。空所は第21段落最終文に含まれるが、答えを出すには第18段落から続く筆者の仮説を、順を追って理解する必要がある。第17段落では、統語論的規則がネアンデルタール人にも自然発生的に備わっていた可能性が示され、第18段落では、その事実を踏まえた上で、それでもなお存在するはずの現生人類とネアンデルタール人における差異を説明するために、筆者がたどりついた仮説が説明される。まず、約160万年前に、アイコン的単語がホモ・エレクトスによって話されるようになった。設問9で確認したように、これらの単語が代々受け継がれつつ、それとは異なる、音声と概念の間に恣意的なつながりしかもたない単語や統語論的規

則が自然発生的に生じ、この点については初期のネアンデルタール人とホモ・サピエンスに差はなかった。しかし、第 20 段落で述べられるように、ホモ・サピエンスにおいては、小脳の変化により、「それまでばらばらになっていた単語の意味的クラスターをつなぐ神経ネットワークが発達し、脳内の意味的クラスターに考えを蓄えることができるようになったのである。この内容に続くのが、空所に先立つ第 21 段落第 1 文であり、その内容は設問 3 でも確認したように、「概念の集合を蓄えることを司る、脳内の異なるクラスターを結びつけることで、私たちの種はメタファーを使って思考し、コミュニケーションする能力を獲得した」である。こうした説明から予想できるのは、明らかに系統の異なる概念同士であれば、明確に区別ができるようになった、ということである。

- 11 「ネアンデルタール人はまた、私たちの種であるホモ・サピエンスに固有の性質とそうではない点を理解するためにも不可欠なのだ」

答えは b. a. beneficial は「有益な」、b. critical は「重要な」、c. dispensable は「重要でない」、d. lively は「活気のある」という意味である。vive, viv, vit などには「生命」という意味があり、そこから派生して vital「重要な」という意味が生まれた。dispensable はやや難しいが、indispensable「不可欠な」という単語を知っていればそこから反対に「なしで済ませられる」という意味だと予想できる。

- 12 「私たちは世界中を住処として、繁栄し続けた」

答えは c. a. boom は「急成長する」、b. expand は「拡大する」、c. prosper は「繁栄する」、d. strive は「努力する」という意味である。どれも重要な単語であるため押さえておきたい。

- 13 「幸いなことに、考古学やその他の学問分野での最近の発見によって、この言語のパズルに新たなピースがいくつか加わり、ネアンデルタール人の心について現実的なイメージをもつことが可能になっている」

答えは b. a. controls は「制御」、b. fields は「分野」、c. rules は「規則」、d. sanctions は「制裁」という意味である。discipline は多義語であるため、正確に押さえておく必要がある。

- 14 「考古学的証拠には依然として異論があるが、神経科学と遺伝学から得られた証拠は、ネアンデルタール人とホモ・サピエンスとの間に言語的な、また認知的な違いがあることを示す説得力のある証拠を示している」

答えは c. a. comprehensive は「包括的な」、b. defensive は「防御的な」、c. persuasive は「説得力のある」、d. responsive は「応答性のある」という意味である。

- 15 「複数の単語を並べて意味を生成することに関する一貫した規則」

答えは d. a. conduct は「～を実施する」、b. deduce は「～を推測する、演繹する」、c. deduct は「控除する、推測する」、d. render は「～与える」という意味である。「生み出す」という意味をもつものは、一見すると見当たらないが、少しでも近いところのあるものとしては、d. の render が残る。

- 16 「専門家の中には、骨格や考古学的証拠から、ネアンデルタール人とは大きな違いがあったと解釈する者もいる。また、何もなかったと考える人もいる。また、その間をとる者もいる」

答えは b. middle ground で「妥協点」という意味である。

ex. The debate focused on finding **a middle ground** to resolve the issue peacefully.

「その討論は、問題を平和に解決するための中間地点を見つけることに焦点を当てていました」

- 17 「石や骨に刻まれた幾何学的な刻印とともに、鳥の爪で作られたペンダントや、体の装飾品として羽毛が使われていた可能性が高いことが、象徴化能力の例として主張されている」

答えは c. a. ailments は「病気」、b. amendments は「改善」、c. ornaments は「装飾品」、d. refinements は「精製」、e. supplements は「補足」という意味である。単語の意味を知っていれば容易に回答できる。

- 18 「どんなに精巧に作られていたとしても、木製の槍は先の尖った棒に過ぎず、ネアンデルタール人が存在していた期間を通じて、技術的進歩の証拠は見当たらない」

答えは d. <little more than~> で「~に過ぎない」という意味である。設問5でも説明しているように、ネアンデルタール人に人類並みの能力があったという方向性の主張に対して、筆者が異議を唱えている文脈を考慮する。否定的な発言とするには、d. を選ぶしかない。

- 19 「第二に、アイコン的音声は、600 万年前の我々の共通の祖先のサルのような鳴き声と、ホモ・サピエンスが最初に話した単語の間の進化の架け橋となったという認識である」

答えは a. a. ancestor は「祖先」、b. descendant は「子孫」、c. evolutionist は「進化論者」、d. proprietor は「経営者」、e. successor は「後継者、後任者」という意味である。

- 20 「ネアンデルタール人は絶滅したが、私たちは世界中で人口を増やし、繁栄し続けている」

答えは e. go extinct で「絶滅する」という意味である。go bankrupt や go silent などと同様に、go の第2文型の用法である。

- 21 [内容一致] 「本文に従い、以下の選択肢から全ての正しい文を選び、自分の解答用紙にマークせよ」

答えは b. d.

- a. 「ネアンデルタール人と現生人類はもともと似た言語能力であったけれども、ネアンデルタール人は進化していくにつれて、異なる考えの一群どうしをつなげる能力を失った」

正しくない。第21段落第1文に「概念のまとまりを蓄積する役割を担う一群どうしを脳内でつなげることによって、現生人類はメタファーを用いて思考し、意思疎通する能力を獲得した」とあり、現生人類が新たな能力を獲得したのであって、ネアンデルタール人がその能力を失ったのではない。

- b. 「単語を並べてフレーズや文を構成する規則が時を経ていかに発達したのかに関するコンピュータシミュレーションより得られた結果が示唆するところによると、ネアンデルタール人は自らの言語においてそのような規則を用いていた」

正しい。第17段落に、「三番目に、世代間での言語の伝搬についてのコンピュータシミュレーションによって、統語論、つまり複数の単語を並べて意味を生成することに関する一貫した規則は自然発生的に出現した可能性があることが示されている。このような、統語論が遺伝子によって規定されるという考えから、自然発生的なものとする考えへの転換により、ホモ・サピエンスとネアンデルタール人の言語は、ともにこうした文構成規則を有していたことが示される」とある。

- c. 「ネアンデルタール人とホモ・サピエンスの脳を三次元的に比較すると、いずれの種においても、視覚を司る領域は言語を司る領域よりも大きかった」

正しくない。第11段落に、「ホモ・サピエンスの脳を変形し、ネアンデルタール人の頭蓋内鋳型に合わせて、ネアンデルタール人の脳を3次元的に再構成してみると、構造に関して顕著な違いがあることが示された。ネアンデルタール人の脳は、比較的大きな後頭葉を有しており、視覚情報の処理を担う部分が大きく、言語活動のような他の作業には不向きであった」とある。

- d. 「遺伝的証拠は、ネアンデルタール人と初期の現生人類は互いに連れ添うようになり、交配種を作り出したことを示唆している」

正しい。第6段落第2文に、「ネアンデルタール人の遺伝子が私たち自身の種に見つかっていることは、異種交配が多数生じていたことを示しており、それは効果的な種間コミュニケーションと付き合いができたことを意味している」とある。

- e. 「遺骨や人工遺物から得られた具体的な証拠により、科学者の中で、ネアンデルタール人と初期の現生

人類はメタファー的な言語を使う能力を分かち合っていたことに関する意見の一致がもたらされた」
正しくない。第5段落第1文に「遺骨や人工遺物のような残存物からそのような触れることができないものについて推論しようとした際、意見が一致しないのは驚くべきことではない」とある。

f. 「調査手法に欠陥があるためにネアンデルタール人が洞穴美術を残したという主張に反論する人たちに、
筆者は同意していない」

正しくない。第8段落第3文に「私の考えでは、ネアンデルタール人が洞穴美術残したという証拠は方法論的な問題が未解決であるために欠陥があり、誤りである可能性が高い」とある。

g. 「形式と意味の間に類似がある単語は、現代語ではほぼ消滅してしまった」

正しくない。第16段落第1文に「アイコン的な単語は今日でも諸言語に広く行き渡ったものであり、その単語が表す概念の音、大きさ、動き、質感などの側面を捉えている」とある。

II 次の文章を読み、それに続く問いに答えよ。

22から26の文章は、本文によれば正しいか、それとも誤りか。正しい場合は a，誤りの場合は b を解答用紙に記入しなさい。

22 [内容一致] 「これまで、CDC による最新の研究ほど大規模に、米国の慢性疲労症候群患者を調査した研究はなかった」

答えは a. 根拠となるのは、第1段落の「保健当局は金曜日、米国の成人のうち何人が慢性疲労症候群を患っているかについての、初の全国的な代表値の予測を発表した。その数は 330 万人だった」である。「初の全国的な代表値の予測」とあるため、それまでにこうした調査研究がなかったことがわかる。

23 [内容一致] 「慢性疲労症候群に対する効果的な治療法や効率的な検査方法はまだ開発されていない」

答えは a. 根拠となるのは、第3段落最終文の「治療法はなく、早期診断を可能とする血液検査やスキャンも存在しない」である。

24 [内容一致] 「CDC の最新調査によれば、慢性疲労症候群に苦しむ人は、男性よりも女性が多い。また、男女間の差はこれまでの研究で報告されたよりもはるかに大きいことが判明した」

答えは b. 第12段落第1文に「いくつかの先行研究で示唆されたよりも、男性と女性の差は小さくなっていった」とあり、問題文の「男女間の差はこれまでの研究で報告されたよりもはるかに大きいことが判明した」という内容と明らかに矛盾する。

25 [内容一致] 「ダニエル・クラウ博士によると、慢性疲労症候群を患っている人の実際の数は、この病気と診断された人の数よりも多い可能性がある」

答えは a. 根拠となるのは、第15段落の but 以下の「慢性疲労症候群の人々のほんの一部しか診断されていないと専門家は考えている」である。

26 [内容一致] 「ハンナ・パウエルさんの慢性疲労の症状は、ベリーズを訪れてから5年後に現れ始めた」

答えは b. 第20段落と第21段落が根拠となる。問題文には「慢性疲労の症状は、ベリーズを訪れてから5年後に現れ始めた」とあるが、5年後とは、症状が現れ始めた時期ではなく、慢性疲労と診断され

た時である。

27 [空所補充] 「【 A 】 の空欄に入る適切な語句を選び、自分の解答用紙に記入しなさい」

答えは a. 根拠となるのは第 2 段落第 1 文後半の「また、コロナ後遺症の患者により押し上げられた可能性が高い」である。このことからすると、慢性疲労症候群の症例数はこれまでの調査よりも「増加している」ことが予想できる。

28 [空所補充] 「【 B 】 の空欄に入る最も適切な語句を選び、自分の解答用紙に記入しなさい」

答えは c. 根拠となるのは第 5～7 段落である。第 5 段落から慢性疲労の症状が出ている患者は 40 年前には出現していたことが分かり、第 7 段落から医師はその症状に否定的で単なる不安や気分の落ち込みであるとあしらっていたことが予想できる。よって答えは「退ける」などのネガティブな単語が当てはまると予想できる。a. accepted は「受け入れた」、b. confirmed は「確認した」、c. dismissed は「退けた」、d. embraced は「受け入れた」、e. endorsed は「承認した」という意味である。

29 [空所補充] 「【 C 】 の空欄に入る適切な病気を選び、自分の解答用紙に記入しなさい」

答えは d. 根拠となるのは第 19 段落の「私たちは慢性疲労症候群と long COVID を同じ病気であると考えているが、long COVID の方がより広く医師に受け入れられており、よりはやく診断がつくようになりつつある」である。第 6 段落から未だに慢性疲労症候群に否定的な医師がいるということが分かり、同じ病態であるのならば、long COVID の病名の方が申告時に受け入れられやすいことがわかる。

30 [該当文抜粋] 「慢性疲労症候群の特徴は何か？本文から 12 語のフレーズ を見つけ、自分の解答用紙に記せ」

答えは “at least six months of severe exhaustion not helped by bed rest” である。第 3 段落冒頭に “Chronic fatigue syndrome is characterized by ~” とあることから、引用箇所は明確である。

31 [該当文抜粋] 「慢性疲労症候群の原因かもしれないものは何か。本文より 14 語のフレーズ を見つけ、その語句を自分の解答用紙に記せ」

答えは “a body’s prolonged overreaction to an infection or other jolt to the immune system”。慢性疲労症候群の原因については第 4 段落で次のように言及されている。 “Doctors have not been able to pin down a cause, although research suggests it is a body’s prolonged overreaction to an infection or other jolt to the immune system.” 「医師たちは原因特定には至っていないものの、研究によると、感染症をはじめとした免疫系への衝撃に対する体の過剰反応が長引いているせいであるようだ」

32 [疑問文作成] 「下線部 ① のフレーズで示されている 2 つの問いとは具体的に何か。本文の表現を用い、参加者に投げかけられた 2 つの問いを作り、その問いを自分の解答用紙に記せ」

第 8 段落第 2 文の書き出しが、 “Participants were asked ~” 「参加者は～と尋ねられた」となっており、その目的語となっている 2 つの疑問詞節がそれぞれ解答根拠となる。

1 つ目の答えは “Have you ever been told by a doctor or other health-care professional that you have myalgic encephalomyelitis or chronic fatigue syndrome?”。先ほど示した第 8 段落第 2 文における 1 つ目の疑問詞節 “if a doctor or other health-care professional had ever told them they had myalgic encephalomyelitis or chronic

fatigue syndrome” が根拠となり，これを直接疑問文に直せば良い。疑問詞 if を用いているので，Yes/No で答えられる疑問文にする。主語を本文のまま “a doctor or other health-care professional” にして “Has a doctor or other health-care professional ever told you that you have myalgic encephalomyelitis or chronic fatigue syndrome?” と能動態で疑問文を作っても良いが，ここで問いかけているのは participants すなわち you なので，解答例の通りこちらを主語にした受動態で表現する方が自然だろう。また，本文では時制の一致により疑問詞節内も過去完了形になっているが，直接疑問文では現在完了形にするよう注意しなければならない。

2つ目の答えは “Do you still have myalgic encephalomyelitis or chronic fatigue syndrome?”。第8段落第2文における2つ目の疑問詞節 “whether they still have it” が根拠となる。疑問詞 whether を用いているので，先ほど同様，Yes/No で答えられる疑問文にする。

33 [文中語句整序] 「空所 ㉔内の語を最も適切な順に並び替えて正しい英文を作り，その英文を自分の解答用紙に記せ」

“(CDC officials said) that results in an estimate of 3.3 million U.S. adults(.)”

すでに与えられている動詞 said から said that S V ~ を予想できるが，選択肢の that がそのように従属接続詞だとすると，that 節の内部をうまく作ることができない。そのため，今回は接続詞の that が省略されており，選択肢の that は前文 “About 1.3% said yes to both questions.” 「およそ 1.3%が両方の質問に『はい』と答えた」の内容を指す指示語と予想することが必要である。

節内の動詞の候補は estimate か results のいずれかである。もし estimate だとすると主語は複数形の adults と判断できるが，その場合 “adults estimate ~” の目的語は that, results, U.S. の中から選ぶことになり，いずれも意味をなさない。そのため，動詞は results を用いて <result in ~> 「～という結果になる」という表現を作ると予想できる。

results の形から主語は単数とわかり，さらに <result in ~> という表現から主語と目的語が因果関係にある文脈を踏まえると，主語には U.S.ではなく that の方が置かれると判断できる。またそうすることで，“that results in ~” という並びになり，前文の内容(旧情報)を指す that から，新情報へとつながる英語として自然な論理展開が作られる。

あとは前置詞 in の目的語を作れば良い。中心となるのは <an estimate of ~> 「～という概算，ざっと見積もって～」という表現である。U.S. という語は形容詞的に使用できる(この用法は，第1段落第1文の “many U.S. adults” や第8段落第1文の “57,000 U.S. adults” にも見られる)ので，“3.3 million U.S. adults” となり(本文末尾の表題中には “3.3 million U.S. adults” という全く同じ表現がある)，「CDC 職員によると，その結果，アメリカの成人 330 万人という概算になったとのことである」という意味の英文が完成する。つまり，第8段落で取り上げられた CDC の新報告の中で，2つの質問のいずれにも「はい」と答えたのが調査に参加した約 5,7000 人のうち 1.3%ほどであり，この割合をそのままアメリカ合衆国の成人の全人口(本文中には述べられていないが 2020 年の国勢調査では 2億 5,834 万人)に当てはめると，およそ 330 万人という見積もりが算出される，ということである。

34 [語句抜粋] 「下線部 ㉔の句に関して，ブレイデン・イエールマン医師はどの2つの疾患のことを同一のものだと述べているか。その2つの疾患を自分の解答用紙に記せ」

答えは “long COVID” と “chronic fatigue syndrome”。下線部 ㉔を含む第19段落第1文には，“We

think it's the same illness” 「『私たちはそれを同じ疾患だと考えている』」とあり、下線部を適切に理解するためには指示語 it が指すものをそれ以前の内容から見つけなければならない。直前の第 18 段落を検討すると、第 1 文には “Long COVID is broadly defined as chronic health problems weeks, months or years after an acute COVID-19 infection.” 「概して、コロナ後遺症は、新型コロナウイルスに感染してから数週間、数ヶ月、数年経過しても見られる慢性的な健康問題と定義される」とあり、ここではまずコロナ後遺症の定義が述べられている。続く文では、 “Symptoms vary, but a subset of patients have the same problems seen in people with chronic fatigue syndrome.” 「症状は様々だが、患者の一部は、慢性疲労症候群の患者に見られるのと同じ問題を抱えている」とあるが、ここでの patients 「患者」とは前文とのつながりからコロナ後遺症の患者だとわかる。したがって、この文の趣旨は、コロナ後遺症の患者の中に、慢性疲労症候群の患者と同じ問題を抱える者がいるということである。その上で、続く第 19 段落第 1 文においてイェールマン医師が “We think it's the same illness” 「『私たちはそれを同じ疾患だと考えている』」と述べていることから、彼が “long COVID” 「コロナ後遺症」と “chronic fatigue syndrome” 「慢性疲労症候群」を同一視していることがわかる。

III 以下のトピックについて書きなさい。

35 [自由英作文]

解答用紙に E メールの本文を英語で書きなさい。

すでに解答用紙に印刷されている文章を除いて、100 語程度で書きなさい。

解答用紙下にある空欄に、あなたが記入した単語数を入力しなさい。

解答にはあなたの名前を書かないようにしなさい。

【解答例 1】

Dear Mr. Smith,

My name is Yuki. I'm a freshman at Japanese college. Nice to meet you. I'm planning to take advantage of the summer vacation to study in ABC English School for a short period of one month. So, I would like to ask you the following questions: How well should I need to speak English to study at your school? How much is your tuition fee? Do I need a visa to study at your school? Will your school arrange accommodation for the students? Is there anything else I should be aware of?

I'm looking forward to hearing from you. (95)

Best regards

Yuki

【解答例 2】

Dear, Mr. Smith!

My name is Yuki. I'm a university student from Japan. I'm a freshman and planning to visit the US for a month stay, and I'd like to study at ABC English School during the summer holidays. In order to prepare myself, I would appreciate it if you could answer my questions below. Firstly, what level of English proficiency is required to enter ABC English School? Second, what are the tuition fees? Thirdly, do I need a visa? Fourthly, will the school arrange accommodation for the students? Finally, are there any other things I should know?

I would be grateful for your reply. Thank you very much for your time and help. (107)

**Best regards,
Yuki**

【表現】

1. 挨拶

「拝啓, ~様」

• Dear, ~

「敬具」

- Sincerely (yours),
- Yours sincerely,
- (With) Best (regards),
- (With) Best (wishes),

「初めまして」

- Nice to meet you.
- Pleased to meet you.
- How do you do ?

2. 自己紹介

「日本の大学生」

- a Japanese college student
- a college student from Japan

「大学1年生」

- a freshman in college
- a first-year college student

「大学3年生」

- a junior in college
- a third-year college student

「大学4年生」

- a senior in college
- a fourth-year college student

3. 依頼

「~してください」

- Would you *do* ~?

- Could you please *do* ~?
- I would appreciate if you would *do* ~
- I would be grateful if you would *do* ~

3. 断り

「申し訳ありませんが~」

- I regret to say that S' V'
- I'm afraid that S' V'
- I apologize for ~

5. お礼

「~してくれてありがとう」

- Thank you for *doing* ~

6. 締め

「お返事をお待ちしております」

- I am looking forward to hearing from you.
- I look forward to hearing from you.
- I would appreciate your response.
- I would be grateful for your reply.

「お時間をいただきありがとうございます
ございました」

- Thank you for your time and assistance.
- Thank you very much for your time and help.

7. その他の表現

「夏休み」

- a summer vacation
- summer holidays

「短期留学」

- study abroad for a short period
- a short-term study abroad
- a short-term stay in a foreign country

「~しようとしている」

- I'm planning to *do* ~
- I'm interested in ~

「英語力」

- English proficiency

「~ (学校) に入る」

- enter
- attend
- participate in ~
- be admitted to ~

「授業料」

- a tuition fee
- a course fee
- an admission fee

「~はいくらか」

- How much is ~ ?
- What is ~?

「ビザが必要」

- a visa is required

「~に宿泊先を手配する」

- arrange accommodation for ~
- provide accommodation with ~

講評

- I [長文] (難) 「現生人類とネアンデルタール人での言語能力の違い」に関する英文。やや抽象的な議論も含まれるので、読解にはそれなりに時間を要する。文の一部を挿入する問題は2022年度にも出題されていた形式であるが、今回は10個の空所に対して15の選択肢が用意されており、難易度は上がっている。
- II [長文] (やや易) 「慢性疲労症候群の症例数と認知度の変化」に関する英文。記述問題も含まれるが、抜き出しか、本文の表現を利用した書き換えが基本でありさほど苦勞しない。
- III [自由英作文] (標準) 「大学生が留学先に対して必要な情報を事前に問い合わせるメール」を、100語程度で書く問題。英文メールを書く際に必要な表現についての知識と、質問内容を的確に英語で表現する力が問われている。

大問構成は昨年度と変わらないが、大問1の長文ではT/F問題が姿を消し、文挿入、同義語選択、空所補充、内容一致を含む長文総合問題へと変化した。大問2の長文でも、T/F問題が5問含まれるなど若干の変化は見られたが、大きな変化ではない。大問3の自由英作文は長文内容と連動するものではない。英文メールに使われる英語表現への慣れが出来を大きく左右する。目標は60%

メルマガ無料登録で全教科配信！ 本解答速報の内容に関するお問合せは… メビオ ☎0120-146-156 まで

<p>医学部進学予備校</p> <h1 style="font-size: 2em;">メビオ</h1> <p>☎0120-146-156 https://www.mebio.co.jp/</p>	 <p>医学部専門予備校 YMS heart of medicine</p> <p>医学部専門予備校 英進館メビオ 福岡校</p>	<p>☎03-3370-0410 https://yms.ne.jp/</p> <p>☎0120-192-215 https://www.mebio-eishinkan.com/</p>	 <p>登録はこちらから</p>
---	---	---	---

<p>2025年入試メビオで完全攻略！</p> <h2 style="font-size: 2em;">大阪医科薬科大学</h2> <h3 style="font-size: 1.5em;">攻略講座</h3> <p style="color: red;">オンライン受講もできます ※授業は録画視聴となります</p> <h1 style="font-size: 3em;">2/6</h1> <p>医学部進学予備校メビオ校舎</p> <table border="0"> <tr><td>9:00~11:00</td><td>英語</td></tr> <tr><td>11:30~13:00</td><td>数学</td></tr> <tr><td>13:45~15:15</td><td>物理 or 生物</td></tr> <tr><td>15:45~17:15</td><td>化学</td></tr> </table> <p style="text-align: right;">詳しくはこちら</p>	9:00~11:00	英語	11:30~13:00	数学	13:45~15:15	物理 or 生物	15:45~17:15	化学	<p>後期入試もチャンスあり！</p> <h2 style="font-size: 2em;">近畿大学</h2> <h3 style="font-size: 1.5em;">医学部</h3> <h1 style="font-size: 3em;">後期模試 2/13</h1> <p style="text-align: right;">新梅田研修センター 英進館メビオ校舎</p> <p style="text-align: right;">詳しくはこちら</p>
9:00~11:00	英語								
11:30~13:00	数学								
13:45~15:15	物理 or 生物								
15:45~17:15	化学								
<p>医学部進学予備校 メビオ ☎0120-146-156</p>	<p>校舎にて個別説明会も随時開催しています。 【受付時間】9:00~21:00 (土日祝可)</p>	<p>大阪府大阪市中央区石町 2-3-12 ベルヴォア天満橋 天満橋駅(京阪/大阪メトロ谷町線)より徒歩3分</p>							